

波瑠

Profile

はる●1991年6月17日生まれ、東京都出身。06年の女優デビュー以来、多くのドラマや映画に出演。主な主演作にドラマ「あさが来た」(15～16年NHK総合ほか)、「サバイバルウェディング」(18年日本テレビ系)、「G線上のあなたと私」(19年TBS系)、映画「オズランド 笑顔の魔法おしえます。」(18年)など。日台共同制作の主演ドラマ「路～台湾エクスプレス～」(NHK総合)が5月放送予定。

撮影=田中智久/取材・文=大西淳子
ヘアメイク=岩根あやの/スタイリスト=入江未悠(Linx)
編集協力=千葉由知(ribeo visualworks)

SA・PA&ドライバー問一答

Q. SA・PAで気になるグルメ

A. 「犬と一緒にすることが多いので、屋台で食べ物を買って家族でつまんでいます」

Q. 犬とよく行くおでかけ先

A. 「ドッグランのあるSAや道の駅のようなところで遊ぶことが多いです」

Q. 高速道路の印象

A. 「一般道は神経を使いますが、高速道路は気持ちよく走れるので好きです」

©2020「弥生、三月」製作委員会。



「弥生、三月
-君を愛した30年-」

3/20公開

STORY

遊川和彦が脚本・監督を担当した激動のラブストーリー。1986年3月、弥生と太郎は高校で出会い、互いにひかれ合うが、弥生は太郎に恋する親友・サクラ(杉咲)を応援。しかし高校卒業前にサクラは病気で命を落としてしまう。気持ちを伝えられないまま、別の道に進んでいく2人。それぞれに夢をかなえ、家庭も持つが、2人の人生は順風満帆ではなく、やがてどん底に突き落とされる。そんな時、サクラが残したメッセージが届く。

STAFF & CAST

脚 遊川和彦
監 波瑠、成田凌、杉咲花、小澤征悦、黒木瞳ほか

人間として美しいヒロインを
成立させるのが大変でした。



「家」

政婦のミタ(11年日本テレビ系)などの脚本を手がけた遊川和彦さんが脚本・監督を務めた映画「弥生、三月-君を愛した30年-」。運命で結ばれた弥生(波瑠)と太郎(成田凌)の30年間を3月だけで描いていくラブストーリーだが、主人公を演じた波瑠さんは、当初、監督からの出演オファーを受けるか悩んだという。

「弥生は物語の中で震災に被災したりと、背負うものも大きいですし、一人の役者で30年間を描いていくのも難しいことだと感じて、自信がなかったんです。それで、お断りするつもりで監督とお会いしたら、『太郎は成田くんだし、弥生は波瑠さんだし、それ以外はないんだ』と言って

いただいて。ここまで望んでもらえる機会もそうないですし、こんなに熱意がある監督とやってみたいという気持ちになりました」

弥生は自分の信念を貫く芯の強い女性。その姿は確かに波瑠さんのイメージと重なる。

「皆さん私のことを凜としていてと思われるみたいですが、全然そんなことはないんですよ(笑)。だから正直で潔い、人間として美しい弥生を成立させるのは大変だなと思ってました。10代で親友を亡くし、被災して大切な人も亡くす弥生の人生はすごくつらく感じます。私が誰かを幸せにできるんだろうかという大きな不安と、それでも誰かをまっすぐ愛する自分でいたいという思いが、さらに苦しみを生んで…。彼女らしさが時に彼女を不自由にさせてしまうので、演じていてすごく苦しかったです」

弥生と太郎は仙台生まれという設定のため、撮影は宮城でも行われた。「仙台では桜を狙って行った場所がとてきれいでした。一度、名物の牛タンを食べに行く時間があった、それもおいしかったですね!」

そんな波瑠さんが、春にドライブをするなら…?

「数年前、旅行と合わせて河津桜を見に行ったことがあるので、またそういうドライブをしたいですね」